

修士論文（要旨）
2022年7月

程度副詞をめぐる日中対照
—ズット・ハルカニ・ワリニ—

指導 青山 文啓 教授

言語教育研究科
日本語教育専攻
220J3013
楊 佳文

Master's Thesis(Abstract)
July 2022

A Japanese-Chinese Contrastive Study on Adverbs of Degree:
Zutto, Harukani, Warini

YANG, JIAWEN

220J3013

Master's Program in Japanese Language Education

Graduate School of Language Education

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Fumihiro Aoyama

目次

第1章	はじめに.....	1
1.1	研究の背景と構成.....	1
1.2	副詞とは.....	1
(I)	副詞.....	1
(II)	程度副詞.....	4
(III)	情態副詞.....	8
(IV)	陳述副詞.....	9
1.3	対象とする程度副詞と本稿で扱う用例.....	10
1.4	表記について.....	11
第2章	ズット、ハルカニ、ワリニと被修飾成分.....	11
2.1	ズット.....	12
2.2	ハルカニ.....	16
2.3	ワリニとワリト.....	19
2.4	三語の共通点と相違点.....	23
(I)	共通点.....	23
(II)	相違点.....	25
(III)	ズットとハルカニ.....	28
(IV)	ハルカニとワリニ.....	29
(V)	ズットとワリニ.....	29
第3章	ズット、ハルカニ、ワリニに対応する中国語の比較表現.....	31
3.1	中国語の程度副詞.....	31
3.2	ズットとハルカニに対応する中国語の比較表現.....	38
3.3	ワリニに対応する中国語の比較表現.....	43
第4章	比較用法以外の中国語表現.....	44
4.1	ズットの持続・空間用法に対応する中国語.....	44
4.2	ハルカニの到達不能用法に対応する中国語.....	46
4.3	ワリニの評価表現に対応する中国語.....	48
4.4	まとめと今後の課題.....	49
参考文献	52
辞書	52
用例出典	52

第1章 はじめに

日本語と中国語の程度副詞についての対照研究は主に時衛国(2009,p. 59)、陳建明(2011)、劉傑(2017)によって行なわれている。時衛国(2009)が行なった研究では意味的にも互いに対応し、比較対象の15ペアの代表として、「あまり」と<太 tài>、「極めて」「非常に」と<极 jí> <非常 fēi cháng>などを取り上げている。陳建明(2011)が行なった研究では「程度増加型副詞」を中心に日本語「もっと」「さらに」などの6語、中国語<更 gèng><再 zài>などの5語について考察の対象とする。劉傑(2017)では日本語の「もっと」と中国語の<更 gèng>を中心に考察し、程度小の程度副詞の評価性について日本語の「多少」と中国語の<多少 duō shǎo>を例に論じる。本稿は先行研究で扱われていないズット、ハルカニ、ワリニの用例とそれらに対応する中国語を比較して、それぞれの特徴と意味機能を対照的に考察を試みるものである。

日本語の程度副詞は主に連用修飾として働く。対象とするズット、ハルカニ、ワリニの考察に入る前に、副詞の三大下位分類：程度副詞、情態副詞、陳述副詞について、それぞれの相違点を見る。程度副詞は情態副詞を修飾でき、大半は話し手の評価や態度を含まないが、ワリニとワリトは話し手の予測を含むため、程度を表わしながら評価性もある(工藤 1983)。情態副詞は「もっとゆっくり歩いて」のように程度副詞に修飾されることがあり、[情態副詞+する]のように動詞化される。陳述副詞は文全体修飾し、話し手の評価、態度、推量、判断などを表わす。

第2章 ズット、ハルカニ、ワリニと被修飾成分

三語の共通点は比較用法にある。ズットとハルカニには顕在的な(構文上は比較基準が示される、もしくは比較基準が省略されても[Y+より]を入れて成り立つ)比較の用法があり、[XはY+よりズット/ハルカニ+段階性の状態概念]という構文で用いられる。ワリニとワリトは潜在的な(構文上は比較基準が示されないが、それ自体に比較の意味が含意され、[Y+より]を入れることができない)比較表現として用いられる傾向がある。また、ズットとハルカニにはもう一つ共通点がある。それは、二語の後ろに特殊な時空間表現(「ずっと昔から」「はるか昔から」「ずっと遠く」「はるか遠く」など)が来ることである。

三語の相違点はいくつかある。まず、ズットにしかない用法は持続(「ずっとここにいる」など)および空間表示(例えば、「わしらと川とのあいだには...ソ連の大型戦車がずうっと並んでおる」)の用法である。持続表現では修飾されるものが異なると、段階性をもたない体言(「ずっとお客」)に用いられる場合もある。また、用法上ズットは二つ重ねて用いること(「ずっとずっとと安楽な」)があり、連用修飾を受けること(「もっとずっと深い」)もある。さらに、母音を伸ばした異表記ズウットが用いられること(「ずうっと待つ」)もある。このような特徴はハルカニ、ワリニにはない。

ハルカニにしかない用法は、到達不能をイメージさせる用法である。到達不能は抽象的な空間(「判断能力を遥かに越えていた」と物理的な空間(「水草や藻のはるか下方」)の二種類に分けられる。また、名詞、副詞を修飾する場合、ハルカという形で多く用いられる(「はるか遠くのところ」「はるか昔から」)。さらに、ハルカが名詞として使われることもあるが(「遥かの山の空」)、これはかなり珍しい用法である。

ワリニの用法には二つのパターンがある。一つは程度副詞として用いられ、ワリトはその同義語であり、お互い入れ換えられる場合が多い。もう一つは、[形式名詞ワリ+助詞ニ]という組み合わせで連体修飾を取る用法である。また、話し手にとって命題の予想と結果にズレがある場合、話し手はワリニとワリトを使用して意外性を表わす。従って、ワリニには程度副詞でありながら、陳述副詞のような評価性がある。また、三語の際立った相違点は、程度副詞のズ

ット、ハルカニ、ワリニは一つの命題の内部で二つの名詞が指すものを比較するのに対して、[形式名詞ワリ+助詞ニ]は二つの命題間での比較だという点である。

第3章 ズット、ハルカニ、ワリニに対応する中国語の比較表現

ズットとハルカニが比較用法として用いられる場合、それらに対応する中国語は程度副詞<多 duō>として訳されることが多い。構文上は[X[比 Y][述語[得 de+補語]]][Xは[Yより][連用修飾+述語]]のような用例が大半である。この構文で<多>は補語として述語の後に用いられ、述語との関係は中国語文法でいう「述補構造」(刘月华・潘文娛・故鞞 1996)に分類される。つまり、構文から見ると、日本語におけるズットとハルカニは連用修飾として述語の前に来るのに対して、その中国語訳は補語として述語の後にくる。

次に、ワリニが比較用法として用いられる場合、対応する中国語は程度副詞<比较 bǐ jiào>に訳される用例がほとんどで、それが結ぶ述語との関係は中国語文法でいう「状述構造」と呼ばれ、日本語ワリニが述語の前にくる点で類似している。

また、ズット、ハルカニ、ワリニの中国語訳は上述のように、日本語原文に対応する用例が大多数だが、日本語原文が特定の(時衛国 2009)比較表現であるのに対して、その中国語訳は非特定の(時衛国 2009)比較表現に対応するようである(少数ながらそのような用例が見つかる)。その理由は、中国語訳には意識が多く、またそれぞれの被修飾成分の性格によっては日本語原文に忠実でないこともある。このことは両言語の構造上の違いが大きく影響していると考えられる。

第4章 それ以外の中国語表現

ズットの持続用法に関してその対応訳は大半<一直 yìzhí><始终 shǐzhōng>であり、状況語として述語の前に置かれる。空間用法の場合、ズットの対応訳も状況語として述語の前に来る。ズットによって修飾される成分は日中の構文上、対応する用例がほとんどであるが、持続用法で日本語のほうは直接、名詞(例えば(4.1-6)<客人 kèrén (お客)>)を修飾しうることに対して、その中国語訳は直接、名詞を修飾することができず、必ず be 動詞<是 shì (である)>を介し、<是客人 (お客である)>という構造にしてはじめて修飾が成り立つ。このような特徴は他の品詞を修飾する場合には見当たらない。

ハルカニの到達不能用法に関しては、ハルカが名詞を修飾するのに対して、その中国語訳は副詞として動詞を修飾する用例もあれば、形容詞として名詞を修飾する例もある。しかも、それらの品詞は日本語には必ずしも対応しない。中国語の対応訳が副詞とする場合、文では状況語として働き、動詞を修飾する。この場合、<远/远远 yuǎn/yuǎn yuǎn>と訳される場合が多い。形容詞の働きをする場合、文のなかで限定語として働き、名詞を修飾する。

[形式名詞ワリ+助詞ニ]の組み合わせに対応する中国語は機能上、①副詞、②接続詞(連詞)、③異なる二つの副詞の組み合わせ、④副詞と接続詞(連詞)の組み合わせである。いずれも句と句/文と文を繋いで逆接関係を表わす役割を担い(馬真・郭春貴 2001)、意外性のニュアンスを表わすものであり、日本語で[形式名詞ワリ+助詞ニ]の担う機能に類似する。

以上をまとめると、程度副詞ズット、ハルカニ、ワリニの共通点は比較用法であり、それらと述語との関係は日本語では[連用修飾+述語]であるのに対して、中国語では「状述構造」(つまり、[状況語+述語]構造)に対応する。そのほか、ズット、ハルカニの中国語訳には「述補構造」「状述補構造」のような構文が用いられる。比較用法以外、三語の中国語訳はそれぞれに特徴が見られるが、まとめることは難しいため一概には言えない。

参考文献

- 青山文啓 1998 「二重主語構文と辞書」 『言語』 27(3), 57-63 頁
- 金田一春彦[編]1976 「国語動詞の一分類」 『日本語動詞のアスペクト』 むぎ書房
- 工藤浩 1983 「程度副詞をめぐる」 『副用語の研究』 渡辺実[編]明治書院
- 國廣哲彌・柴田武・長嶋善郎・山田進・浅野百合子 1982 『ことばの意味 3 辞書に書いてないこと』 平凡社
- 久野暉 1973 『日本文法研究』 大修館書店
- 時衛国 2009 『中国語と日本語における程度副詞の対照研究』 風間書房
- 蔣昊 2013 「形容詞の連用形とその中国語訳に見る構文研究」 桜美林大学大学院修士論文
- 田和真紀子 2011 「程度副詞の評価性をめぐって」 『宇都宮大学教育学部紀要』 1 (61), 25-36 頁
- 陳建明 2011 「日本語と中国語の比較に関わる程度副詞の対照研究-「程度増加型副詞」を中心に」 大阪府立大学博士論文
- 時枝誠記 1950 『日本文法 口語篇』 岩波書店
- 中山恵利子 1996 「程度副詞の分類の試み—その程度・量・基準により—」 『阪南論集 人文・自然科学編』 31 (3), 75-86, 1996-01 阪南大学学会
- 馬真・郭春貴 2001 『簡明中国語文法ポイント 100』 白帝社
- 宮島達夫 1972 『動詞の意味・用法の記述的研究』 国立研究所 秀英出版
- 山田孝雄 1936 『日本文法學概論』 宝文館出版
- 楊光俊・王聡・河野愛子 2005 『中国語の文法と使い方 55』 三修社
- 劉傑 2017 「程度副詞に関する中日対照研究」 広島大学博士論文
- 刘月华・潘文娛・故韡 1996 『現代中国語文法総覧』 片山博美・守屋宏則・平井和之[共訳]くろしお出版
- 渡辺実 2002 『国語意味論』 塙書房
- 陳建明 2012 「第二语言习得研究模式初探—以汉语程度副词“更”和日语程度副词“もっと”的分析为例」 『西安工业大学报』 Vo1.32 No.11
- 王銀 2007 「“A 多了”和“A 得多（了）”」 『邵阳学院学报社会科学版』 Vol.6 No.6

辞書

- 北原保雄[編]2010 『明鏡国語辞典第二版』 大修館書店
- 国語学会[編]1955 『国語学辞典』 東京堂出版
- 田中春美[編]1988 『現代言語学辞典』 成美堂
- 西尾実・岩淵悦太郎・水谷静夫[編] 2009 『岩波国語辞典（第7版）』 岩波書店

用例出典

- 芥川龍之介 1918 『蜘蛛の糸』 新潮文庫の 100 冊 CD-ROM (1995)
- 歌野晶午 1989 『動く家の殺人』 講談社
- 安部公房 1962 『砂の女』 新潮文庫の 100 冊 CD-ROM (1995)
- 阿部牧郎 2003 『出合茶屋』 講談社
- 荒巻義雄 1991 『樹々より木漏陽の国』 大陸書房
- 泡坂妻夫 1988 『折鶴』 文芸春秋
- 開高健 2006 『裸の王様』 新潮文庫
- 勝目梓 1997 『真夜中の女』 角川書店
- 川端康成 1946 『雪国』 新潮文庫の 100 冊 CD-ROM (1995)

北方謙三 1988 『帰路』 講談社
 笹倉明 1999 『ルアン』 毎日新聞社
 志賀貢 2005 『主治医』 光文社
 笑福亭松鶴 1987 『上方落語』 講談社
 鈴木捧 2021 『実話怪談 蜃気楼』 竹書房
 高野建三 1991 『旅と溪』 山と溪谷社
 太宰治 1952 『人間失格』 新潮文庫の 100 冊 CD-ROM (1995)
 多和田葉子 2000 『光とゼラチンのライブチッヒ』 講談社
 田辺聖子 1995 『おかあさん疲れたよ』 講談社
 東北大学総合学術博物館「深海に囲まれた国 日本」 <http://www.museum.tohoku.ac.jp/>
 夏目漱石 1963 『坊ちゃん』 新潮文庫の 100 冊 CD-ROM (1995)
 東野圭吾 2014 『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 角川文庫
 三島由紀夫 1956 『金閣寺』 新潮文庫の 100 冊 CD-ROM (1995)
 南英男 2005 『匿名告発』 徳間書店
 村上春樹 1986 『中国行きのスロウ・ボート』 中央公論社
 村上春樹 1997 『ねじまき鳥クロニクル第 1 部泥棒かささぎ編』 新潮文庫
 村上春樹 1997 『ねじまき鳥クロニクル第 2 部予言する鳥編』 新潮文庫
 村上春樹 1997 『ねじまき鳥クロニクル第 3 部鳥刺し男編』 新潮文庫
 佳村昌季 1988 『第 11 幕への序曲「浮輪をしたハチ公」』 実業之日本社
 吉村達也 1993 『竜神温泉殺人事件』 講談社
 川端康成著〔日〕¹2008 《川端康成精品集》〈雪国〉 叶渭渠 唐月梅译 复旦大學出版社
 村上春樹著〔日〕 2009 《奇鳥行状録》 林少華译 上海译文出版社
 東野圭吾著〔日〕 2014 《解忧杂货店》 李盈春译 南海出版公司
 三島由紀夫著〔日〕 2012 《金閣寺》 林少華译 青島出版社
 太宰治著〔日〕 2018 《人間失格》 焯伊译 江苏鳳凰科学技术出版社
 夏目漱石著〔日〕 2013 《哥儿》 陈德文译 上海译文出版社

¹ 〔日〕表記は出版物の原語が日本語で書かれていることを示す。原語が外国語で書かれている出版物は中国で翻訳され出版される場合、〔国〕のような表記で示す。